

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○「チームあざみ野」として全職員で「共有」「共感」「協働」を合言葉に「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒を理解し、認め、励まし、一人ひとりを伸ばす教育を行います。 ・主体的・対話的で深い学びに通じる指導を充実するとともに、「分かる授業」「魅力ある授業」を実践します。 ・自己肯定感を高め、お互いに認め合う人間関係、思いやりのある心を育てます。 ・地域とのコミュニケーションを通して、信頼関係を深めていきます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
道徳・人権教育	<p>①人権意識を高めるために職員研修や講演会を行い、「誰もが安心して豊かに生活できる学校」を目指す。</p> <p>②学校教育全体で道徳教育を充実させ、生徒一人ひとりの個性を認め合える学校づくりを目指す。</p>
担当	学習道徳係・人権推進教師

2 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」に関わる課題)

- ・日々の生活の中で達成感を感じる経験をしており、自己肯定感を強く感じている生徒が多いように思われる。しかしその反面、自己主張はするものの、とても傷つきやすい一面を持っている。
- ・街の歴史はそれなりにあるものの(親も卒業生)、生徒の学校や地域に対する帰属意識が弱いように感じる。
- ・帰国生徒や市・県外からの転入が多く、多様な価値観がある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

- 【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育(必須項目)
- ・各学級の道徳の授業と学校の教育活動全体を通して行う道徳教育との関連を図り、体験活動を生かした指導を行います。
 - ・人と人との関わりあいを大切にして、認め合い・支え合いの活動を通して、相手の立場に立ち、物事を公平・公正に見る態度を育成します。
 - ・長崎修学旅行へ向けて、計画的に平和学習を充実させます。
 - ・朝総合の時間を通して、「多様性のある学びの場」として問題解決能力を育成するために、自らが読んだ本などから新たな課題や知識から自分の考えを深め、自分自身の生き方を考えるきっかけとします。